



福祉のまちづくり広報誌

ありば

「バリア」の逆は「ありば」。
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

VOL. **47**
 2024



表紙 / カラフルな魚たち 本村実希 (ほんむら みき) さんの作品

本作品は、就労継続支援B型事業所 Lanka (鹿屋市) を利用している本村実希さん (37歳) の作品です。画像を参考にしながら描き始め、魚の模様や背景などにオリジナリティを加え、クレヨンで試行錯誤しながら「海のきれいさを表現したい。」との思いで描きあげたそうです。

本村さんは、Lanka 利用当初から積極的にアート活動に取り組んでおり、「かごうしまマ」(2022年開催の第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会マスコットキャラクター) のデザインは一般公募 293点の中から採用されました。これからも、県内外の芸術祭・展覧会への出展や、「大きいサイズの画用紙にクレヨンで大きくリアルな絵を追求して描いてみたい。」と意気込んでいます。



本村さん 自画像

NPO法人 Lanka / 鹿屋市北田町 11132-1

Lanka では、チョコレート製造・販売業務やアート活動を通じて、障害者の就労支援を目指しています。

CONTENTS

【特集】

燃ゆる感動かごしま大会を終えて

PAGE **1**

ありばヒューマンドキュメント

上園 真吾さん

PAGE **3**

ありば通心

古民家カフェ「ちよこっと」

PAGE **4**

ハードルを越えて

山口 乃愛さん

PAGE **5**

バリアフリー最前線

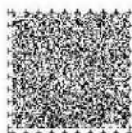
奄美大島世界遺産センター
 心の輪を広げる障害者理解促進事業

PAGE **6**

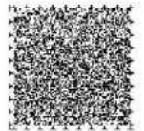
鹿児島県からのお知らせ

- ・世界自閉症啓発デー、発達障害啓発週間
- ・合理的配慮の提供の義務化
- ・鹿児島県身障者用駐車場利用証制度
- ・障害者の相談窓口を設置しています！

PAGE **7**



燃ゆる感動 かがしま大会 特集



令和5年10月28日(土)～10月30日(月)に開催された「燃ゆる感動かがしま大会」は、皆様のご協力のもと無事に終了することができました。鹿児島県選手団は、総勢467人が参加し、過去最高の196個のメダルを獲得し素晴らしい成績となりました。選手の皆さん、感動をありがとうございました！

大会結果

団体競技



バレーボール (知的女子)



グランドソフトボール (身体)



バレーボール (精神)



サッカー (知的)



バレーボール (聴覚女子)



バレーボール (知的男子)

金×39 銀×31 銅×19



陸上 (身体・知的)



大会には車いすバスケットボール (身)、バスケットボール (知)、ソフトボール (知)、フットボール (知)、バレーボール (聴覚/男子) も出場しました。

個人競技

金×10 銀×9 銅×4



卓球 (身体・知的・精神)

金×10 銀×13 銅×5



フライングディスク (身体・知的)

金×14 銀×9 銅×13



水泳 (身体・知的)

金×1 銀×2 銅×1



アーチェリー (身体)

銀×4 銅×5



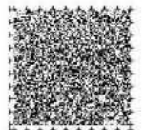
ボウリング (知的)

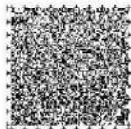
銀×2 銅×1



ボッチャ (身体)

燃ゆる感動かがしま大会を終えて





SAGA2024 全障スポを目指す選手を応援しよう！

第18回鹿児島県
障害者スポーツ大会
個人競技：5/19
(ボッチャのみ5/26)

実施競技

- ・個人競技（7競技）
 - ①陸上（身・知）
 - ②水泳（身・知）
 - ③アーチェリー（身）
 - ④卓球（身・知・精）
 - ⑤フライングディスク（身・知）
 - ⑥ボウリング（知）
 - ⑦ボッチャ（身）

身：身体障害者が出場できる競技
知：知的障害者が出場できる競技
精：精神障害者が出場できる競技

SAGA2024全障スポ（第23回全国障害者スポーツ大会）の予選を兼ねています！
SAGA2024全障スポ出場を目指す選手の皆さんに熱いご声援をお願いします！

第23回全国
障害者スポーツ大会
(SAGA2024全障スポ)
九州地区ブロック
予選会
団体競技：6/8・9

実施競技

- ・団体競技（7競技）
 - ①バスケットボール（知）
 - ②車いすバスケットボール（身）
 - ③ソフトボール（知）
 - ④グランドソフトボール（身）
 - ⑤フットソフトボール（知）
 - ⑥バレーボール（身・知・精）
 - ⑦サッカー（知）

九州地区ブロック予選会で優勝すると、SAGA2024全障スポに出場することができます！選手の皆さんを応援しましょう！

会場

個人競技、団体競技ともに競技毎で会場が異なるため、
鹿児島県のホームページ及びSAGA2024ホームページ
をご確認ください。



鹿児島県
ホームページ



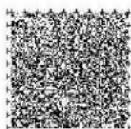
SAGA2024
ホームページ

SAGA2024 全障スポ（第23回全国障害者スポーツ大会）開催！

佐賀県では初開催となる全国障害者スポーツ大会！
「双子の大会」SAGA2024全障スポ。ともに盛り上げていきましょう！

実施時期

令和6年10月26日（土曜日）から
10月28日（月曜日）までの3日間



お問い合わせ先

鹿児島県暮らし保健福祉部障害福祉課
障害者支援室地域生活支援係
TEL：099-286-2746 FAX：099-286-5558



あくまでも競技するのは選手です。選手がどうしたら競技に取り組みやすいか、記録が出やすいかなど常に「選手ファースト」で考えています。

ありが

ビューマンドキュメント



ブラインドランナーズ / 伴走・コーラー

[上園 真吾]さん

選手の目となり、力になる

2005年に結成された視覚障害者の陸上競技チーム「ブラインドランナーズ」は、ハートピアかごしまを拠点に、月に2回、選手、伴走者・コーラーそれぞれ、約25名で活動しています。伴走者とは、視覚障害者と一緒に走る人のことです。視覚障害者の目となり、方向指示を出し、障害物を避けるなど選手をサポートする重要な役割です。チームの一員である上園真吾さんは、13年前に伴走を始め、伊佐市役所に勤務しながら、伴走者・コーラーとして活動しています。

伴走者は、選手との信頼関係を築くためにコミュニケーションが何よりも大切です。目が見えない選手に安心してもらうため、カーブや障害物など、コースの状況をその都度伝える必要があります。上園さんは、「選手は、少しの手の振りのズレでも違和感を抱くことがあるので、一方的な指示を伝えるのではなく、選手から状況を聞きながら伴走することを心がけています。また、極力選手の手足の動きに合わせるようにしています。」と伴走者としての技術を語ってくれました。

走り幅跳びのコーラーは、真っ直ぐ助走させるために音を出して選手を導き、踏切のタイミングを教えるという役割です。手拍子などで走る方向や跳ぶ位置を選手に伝える必要があるため、選手が跳ぶ踏切線のギリギリまで立ち、走る方向をコーラーします。上園さんは、「コーラー

が早く踏切線から離れると、選手がコーラーの声の方に走り、跳ぶ位置がずれてしまいます。選手にはコーラーの自分にぶつかる勢いで走ってくるよう伝えていきます。伴走、コーラーどちらの時も「選手がどうすれば競技しやすいか」を考えながらサポートをしています。全国の中でも、サポートは上手い方だと思っています。」と、照れながらも話してくださいました。

「スポーツ選手」として活躍してもらうために

上園さんは、障古のある選手にスポーツを楽しむだけでなく、「スポーツ選手」としての活躍も望んでいます。しかし、視覚障害者を持っている方には「目で見たままのことを伝える」ということが難しく、指導方法について悩んだ時期もあったそ

うです。そんな時、視覚障害者の三雲明美さん（ブラインドランナーズ代表）が、伴走者と綺麗に疾走する姿を見て衝撃を受け、選手の持っている能力を引き出す指導を行うことので、しっかりと選手と向き合っていることかと思っただけです。

上園さんがサポートした選手が、日本選手権や国際大会で活躍しています。「昨年の『特別全国障害者スポーツ大会かごしま大会』では、2名が表彰台に立つことができた。選手が、私を色々な大会に連れて行ってくれるんです。」と、嬉しそうに上園さん。

「伴走に資格は不要です。一緒に走ると自分の記録も伸びる、そんな相乗効果もあります。興味のある方、一度見学に来てみませんか！」



具千口勝千「伴走者がいれば安心して走ることが出来ます。その爽快感と一緒に味わってほしいです。」



「真さんが「コーラー」を務めている具千口勝勝千は、かごしま大会の走り幅跳びで金メダル（大会新記録）を獲得

ブラインドランナーズ
練習場所：ハートピアかごしま
〒890-0021 鹿児島市小野1丁目1-1
連絡先：090-3325-5472（代表：三雲）

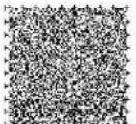


「ちよこつと」では、就労継続支援B型事業所
ちよこつとの利用者が、野菜の生産から調理・
接客までを担っています。活動拠点の高江未来
学校（旧高江中学校）を中心に野菜を生産して
います。

令和5年9月にオープンした古民家カフェ
「ちよこつと」では、就労継続支援B型事業所
ちよこつとの利用者が、野菜の生産から調理・
接客までを担っています。活動拠点の高江未来
学校（旧高江中学校）を中心に野菜を生産して
います。

利用者が生産した新鮮な野菜は、料理に使う
のはもちろん、無人販売やマルシェのほか、薩
摩川内市内の店舗でも販売しています。代表の
本村修さんは、「ランチに来られた方にも施設利
用者が丹念に育てた野菜や苗を購入していただ
いています。立派な苗だね。新鮮な野菜でおい
しかったよ」という生の声を聞けることが、利
用者たちのやりがいにつながっているんです。」と
嬉しそうにお話してくださいました。

カフェを立ち上げるきっかけは、利用者の皆
さんにもっと活躍の場を提供したいという思い
があったそうです。カフェを運営することで、
野菜の生産・加工・調理だけでなく、接客や後
片付けに加え、箸袋やポップの作成など、
お客様の「目に見える」



古民家カフェ「ちよこつと」(合同会社情熱家)



木村さん「いいチームワークで皆で1人、おいしいものを作る為頑張っています。」



ランチは700円。峰山地区の方は500円で提供しています。



平日にもかかわらず、賑わいをみせていました。



建物と土地も近所の方から受け継いだが、見せられて
支えてもらえる素敵場所です。



日頃の「コロッケは、じゃがいも・かぼちゃ・里芋
など季節によって様々。

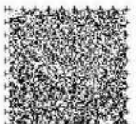
作業を利用者に提供することができます。カフェ
を主に担当するもう一人の代表 田原千穂子さ
んは、「利用者の中には、「自分の作業はカフェ
のためになっている。一人でも欠けるとカフェ
が大変だから休んでいられない！」と語って
くれる人もいて、本当に嬉しいですね。」とお話しく
だしました。また、カフェのスタッフとして
働く利用者の児玉節子さんは、「家にいるよりカ
フェで働くのが楽しいの！他のスタッフやお客
さんのために頑張りたいと思うていたら、不
思議なことには体の痛みを感じなくなってきた
た。」と笑顔でお話されました。

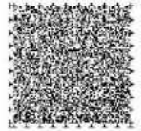
おすすめの料理は、さつまいもなど季節の食
材を使ったコロッケと、新鮮野菜をふんだんに
使用した小鉢です。日替わりランチには、多く
のおすすぬ小鉢がついています。カフェの入り
口を広々とした土間にしたことでもこだわりです。
「古民家カフェ「ちよこつと」は、皆が集まれる「地
域共生の場」にしたいという思いもあ
るんです。土間があれば、足が不自由
な方も農作業の合間の方も、足元を気
にせず気軽に入れるでしょう。これが
好評なんです！」と発案者の田原さん。

オープン当初から毎日来店している
峰山地区のお客様は、「家に帰れば一
人だけど、ここに来れば皆に会える。
ご飯のおいしさはもちろんだけど、利
用者さんやお客さんたちとお話する
のも楽しみのひとつなんです。」と教
えてくださいました。

利用者ができることを「ちよこつと」
ずつ作業し、「ちよこつと」ずつ力を
集めて、たくさん笑顔が集まる古民
家カフェ「ちよこつと」へ足を運んで
みてはいかがでしょうか。

古民家カフェちよこつと (合同会社情熱家)
〒895-0131 薩摩川内市高江町 571 番
TEL: 0996-41-3918 FAX: 0996-41-4526
HP: <https://www.jonetsuya.net/>
営業時間: 11:00~15:00 (LO 13:30)





リレーエッセイ

ハードルを越えて⁴³

山口乃愛さん
(鹿屋市)

私は、北海道出身の大学3年生で、鹿屋体育大学への進学を機に鹿児島に移住してきました。子供の頃から視野が狭い視覚障害がありますが、体を動かすことが好きで、カンフーや太極拳、水泳といった習い事や、授業でスキーに取り組んだり、リレーのアンカーに選ばれたりするなど活発に過ごしました。

中学校での体験会がきっかけで自転車競技を始め、高校生の時には、東京パラリンピック出場を目指していましたが、残念ながら叶いませんでした。大学入学後は、自転車競技部でステップアップを望みましたが、思うような環境で練習できず、大学2年の秋に自転車競技を諦めることになりました。

そんな時、同じ視覚障害者の方に誘われた「ブラインドランナース」で陸上競技を始めました。陸上初心者の私は、陸上スペシャリストの代表からドリルやダッシュの練習方法を教えてもらったり、伴走者の方からコーチングなどのサポートを受けたりしています。

かごしま大会では、100m走と走り幅跳びに出場しました。専門的な練習期間が短く、焦りも少しありました。けれど、過去の自転車競技を振り返って感じた、「もっと頑張れた」という後悔を糧に、「勝つしかない」という思いで臨みました。また、選手宣誓も任せられ、練習やリハーサルを重ねたので本番は緊張なくできました。大会前インタビューで「2種目金メダルを獲ります！」と宣言したとおり金メダルを獲得できたのはもちろん、どちらも大会新記録で優勝できました！私、めっちゃ本番に強いんです！

大会を振り返ると、結果への喜びよりも、周囲の方々への感謝の気持ちが大きかったです。ブラインドランナースの伴走者の方は、安全を確保して練習ができる環境を整えてくださり、恋人は練習場所への送迎を含め、いつも練習につき合ってくれました。大会当日は、北海道の家族が鹿児島に来てくれて、大学の友達・先生・先輩・同級生、同行援護のヘルパーさんとその家族など、たくさんの方が応援してくれました。最高の結果を残せて、少しは恩返しできたかなと思います。

大会後、J-starプロジェクトのメンバーとして選ばれたので、陸上競技にもっと本格的に取り組みたいです。自転車競技では叶わなかった、パラリンピック出場を目指してこれからも頑張ります。

スポーツは、激しい運動だけでなく自分の特性やペースに合わせてできます。身体を動かすと気が晴れますし、汗をかくと気持ちがいいです。何より色々な人と関わることができます。自分と同じ障害を持つ先輩と接することで、年齢などに関わらず、挑戦はいつからでもできるのだと気がきました。皆さんも、一度スポーツに挑戦してみませんか。

※取材 2024年2月



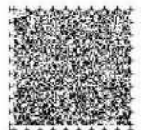
開会式で選手宣誓を行う鹿児島県選手団
(中央) 山口乃愛さん

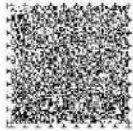


今は、自分がどこまで成長できるかが楽しみです。まずは、100m 13秒台を出すことを目標にしています。

※ドリル (正するための基本を身につけるために行う反復トレーニング)

※J-starプロジェクト(オリンピックやパラリンピックなど世界レベルの競技大会で輝く未来のトップアスリートを発掘するプロジェクト)





KAGOSHIMA

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen

鹿児島島のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアが取り払われています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

奄美大島 世界遺産センター

(奄美市)

奄美市住用町石原 467 番 1

TEL 0997-69-2281

FAX 0997-69-2282

営業時間 9:00~17:00

(最終入場 16:30)

休館日 平日・木曜日・年末年始

(12月29日~1月3日)

入場料 無料



平屋建て、申橋了ユージーも来館が安心



入口から広々としたエントランスホール。フラットの空間



オストメイト設備を有するバリアフリートイレ

奄美大島世界遺産センターは、令和3年の「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録を受け、令和4年7月に開館しました。
「誰でも奄美の自然を気軽に体験できる施設」をコンセプトに、障害者や高齢者など様々な方に配慮された設計となっています。
センター内には、奄美大島の森とそこに棲む生き物を、実際に歩いていけるように体感・観察することができる再現フィールドや、奄美大島の自然を守るための取組、ルールを学ぶことができる展示コーナーなどがあります。
出入口にはスロープを設置し、センター内の通路も幅広く設計されているため、車椅子での移動もスムーズです。広々とした

バリアフリートイレ（オストメイト設備有り）や授乳室もあります。また、筆談での対応や貸出用車椅子（電動1台、手動2台）の利用も可能ですので、案内カウンターにお気軽にご相談ください。
展示室は、ジオラマと映像・音声で奄美大島の世界遺産の森が再現されており、森の一日の変化、天候の変化、生き物の鳴き声などを体感することができ、ボタンを押すと展示に合った映像や音声が流れる仕組みとなっており、ボタンは低めに設置されているので、車椅子ユーザーや子どもでも楽しめるよう配慮されています。
「生命のいきわい」に包まれる奄美大島世界遺産センターで、世界自然遺産の魅力に触れてみませんか。



令和5年度鹿児島県知事表彰受賞作品 ～心の輪を広げる体験作文～

鹿児島県最優秀賞／小学生部門

作品名「不とく意を助け合える世界」

鹿児島市立田上小学校
3年 南 日陽 さん



内閣府佳作／中学生区分

鹿児島県最優秀賞／中学生部門

作品名「吃音と本当の自分」

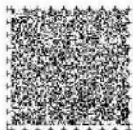
出水市立鶴荘学園
9年 上垣 陽人 さん



鹿児島県最優秀賞／高校生・一般部門

作品名「心の共有」

鹿児島県立鶴丸高等学校
1年 深野 桐子 さん



※ 受賞者の写真は、「令和5年度鹿児島県障害者保健福祉大会」体験発表時のものです。

心の輪を広げる 障害者理解促進事業

障害の有無にかかわらず、誰もが地域や職場、学校などで共に支え合って暮らす共生社会の実現を目指し、障害のある人に対する理解促進を図るための「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週刊のポスター」を、内閣府並びに都道府県及び指定都市の共催で、毎年度公募しています。

TEL: 099-286-2746

鹿児島県からのお知らせ



毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です

自閉症をはじめとする発達障害の方は、他人の意図や感情を直感的に理解したり、言葉を適切に使うことなどが苦手な場合があります。学校や職場でさまざまな問題や困難に直面することがあります。

これらは、親のしつけや家庭環境が原因ではなく、脳機能の発達に関係するものです。

発達障害は、見た目には障害があることがわかりにくいので、行動や態度が誤解されることがあります。

発達障害の特徴を知り、正しく理解していただくことが大切です。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。

問い合わせ先：県庁障害福祉課療育支援係 電話 099-286-2744 FAX 099-286-5558

令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されます！

令和6年4月1日から、障害者差別解消法の改正に伴い、事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化されます。

障害のある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。

障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が示されたときには、負担が重すぎない範囲で対応することが求められます。

「合理的配慮の提供」に当たっては、障害のある人と事業者が話し合い、お互いに理解し合いながら共に対応案を検討しましょう。

障害のある人への具体的な配慮について、参考事例を県ホームページに掲載しています。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。

問い合わせ先：県障害者権利擁護センター 電話 099-286-5110 FAX 099-286-5558



内閣府ホームページ



県ホームページ

鹿児島県身障者用駐車場利用証制度（パーキングパーミット制度）について

右の表示がある身障者用駐車場は、障害のある方や高齢の方、妊産婦の方など歩行が困難と認められる方へ県が発行した利用証を掲示することで使用できるスペースです。

車を運転される車いす常時利用者の方や、歩行困難により建物に近い位置に駐車を必要としている方など、この駐車スペースを本当に必要としている方が利用できるよう適正利用に御協力ください。

本制度の対象となる方で利用証をお持ちでない方は、最寄りの窓口（県庁障害者支援室、地域振興局・支庁・事務所、ハートピアかごしま総務課）で申請くださるようお願いいたします。

※詳しくは、県ホームページをご覧ください。

問い合わせ先：県庁障害福祉課障害者支援室地域生活支援係 電話 099-286-2746 FAX 099-286-5558



障害者の相談窓口を設置しています！

県では、障害を持った方やそのご家族で、日常生活において不安や悩みのある方を対象に、障害者110番の窓口を設置し、相談受付を無料で行っております。

相談は、電話、手紙、FAX、メールのほか、来所による相談も受け付けております。原則として、専任の相談員が対応しており、必要に応じて弁護士が対応することもあります（弁護士相談は初回30分のみ無料）。

※詳しくは身体障害者福祉協会のホームページをご覧ください。か県庁障害福祉課障害者支援室にお問い合わせください。

問い合わせ先：障害者110番（県身体障害者福祉協会） 電話 099-228-6000（FAX 兼用）



[感想をお寄せください]

鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課障害者支援室

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX. 099-286-5558

Vol.47 令和6年3月29日発行

[E-mail]shougai@pref.kagoshima.lg.jp

[URL]http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/machi/index.html

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へ御連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視覚障害者情報センター（鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896）に備え付けてあります。

[SPコード]について

ページの隅に置かれている、四角い黒い点々を[SPコード]（音声コード）といいます。この18ミリ四方の一つのSPコードの中に、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み取り機でSPコードを読み込むと、そのページの内容を音声で読み上げることができます。なお、視覚に障害のある方にもSPコードの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。



〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

鹿児島県からのお知らせ 7

